

20 日山(天王山)の動物

り道の水場よりは水量も豊かで、落葉の間にはイモリの姿も見られる。

そこからはコナラ、リョウブ、アカマツ、カラマツなどの混じる林が続くが、鳥影は案外少なく、ヤマガラの鋭い声が二三度聞こえて来ただけである。

頂上からゆっくり歩いて30分位の所に比較的広い草地がある。ススキやハギなどが疎生し、アキノキリンソウ、ウメバチソウ、ネジバナ、ナデシコ、ヤマハハコ、ワレモコウ、アザミ類などが多く、明るい乾いた草原である。この草原は夏から初秋にかけては蝶類の



クジャクチョウ



バッタの1種

多い所で、各種の草花にはベニシジミ、ルリシジミ、ヤマトシジミなどシジミチョウ類、タテハ類ではクジャクチョウ、ヒオドシチョウ、ルリタテハ、ミドリヒョウモン、オオウラギンスジヒョウモン、ウラギンヒョウモンなど多数吸蜜に訪れている。

この他アゲハチョウ、モンシロチョウ、モンキチョウなど平地の種類も入り乱れて飛んでいる。時にはアサギマダラも仲間入りする。

この草原にはトンボ類やコオロギ、バッタ、カンタンなどの直翅類も多く、クヌギやクリの樹幹にはノコギリクワガタ、ナミクワガタ、